

再生医療の実用化に関する ニーズ発表会

日時:平成23年10月21日(金) 14:00 ~ 17:00
会場:神戸臨床研究情報センター(TRI) 第2・3研修室
主催:財団法人 先端医療振興財団

- 14:00 - 14:10 挨拶 京都大学再生医科学研究所
所長 岩田 博夫先生
- 14:10 - 14:25 講演 「民間臍帯血バンクにおける品質管理と
米国の現状」
(株)アイル 再生医療研究センター
主幹研究員 齋藤 弘一先生
- 14:25 - 15:10 講演 「脳卒中患者に対する再生医療と
その未来」
国立循環器病研究センター再生医療部
免疫制御研究室 室長 田口 明彦先生
- 15:10 - 15:55 講演 「実用化を目指した角膜内皮再生医療
の開発」
同志社大学 生命医科学部医工学科
教授 小泉 範子先生
- 15:55 - 17:00 講演者との個別懇談

主催:財団法人 先端医療振興財団
後援:NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議
関西ティッシュエンジニアリングイニシアチブ、神戸市
お申込 下記いずれかの方法にて、
財団法人 先端医療振興財団・岡までお申し込みください。
メール: t-oka@fbri.org FAX: 078-306-0752
電話: 078-306-0719
本発表会は、近畿経済産業局からの地域企業立地
促進等事業により行います。

Introduction

2



脳卒中患者に対する再生医療と その未来

国立循環器病研究センター
再生医療部免疫制御研究室
室長 田口明彦先生

国立循環器病研究センターでは、脳梗塞患者さんを対象に自己骨髄細胞を用いた細胞治療の臨床試験を行っています。本ニーズ発表会ではその現状を紹介するとともに、循環器疾患に対する細胞治療の今後の発展性に関して、活発な議論をさせて頂きたいと思っています。

1

3



民間臍帯血バンクにおける品質管理と 米国の現状

(株)アイル 再生医療研究センター
主幹研究員 齋藤 弘一先生

再生医療において臍帯血は幹細胞供給源の1つと考えられている。これまで、主として白血病の治療として利用された臍帯血は、近年、米国において脳性麻痺や糖尿病の治療に利用され始めた。臍帯血の保管において重要なことは、臨床を見据え厳格な品質管理を実施することである。本講演では、米国血液銀行協会の認定施設である当施設の品質管理及び米国における民間臍帯血バンクの現状を報告する。

実用化を目指した角膜内皮再生医療の開発

同志社大学 生命医科学部医工学科
教授 小泉 範子先生

私たちは、角膜内皮障害による視覚障害に対する新規治療法の開発に取り組んでいます。通常は増殖しないヒト角膜内皮細胞を増殖させ、分化させる基盤技術を開発すること。さらに培養角膜内皮細胞や薬剤を用いた新しい治療法を開発すること。特に角膜移植が唯一の治療である角膜内皮障害を薬剤によって治療することは、医学の常識を超える新しい挑戦であり、近い将来の実用化が期待されています。



再生医療の実用化に関するニーズ発表会 参加申込書



参加申込

送付先 (FAX) : 078-306-0752

お名前

貴社名

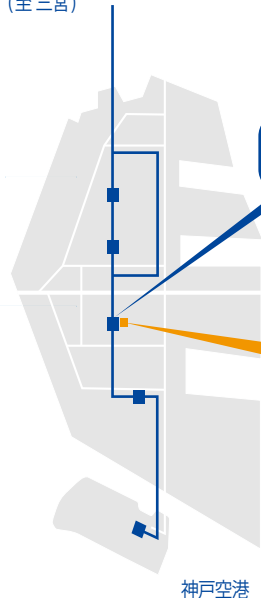
ご所属

お電話

E-mail

アクセス

ポートライナー
(至三宮)



「医療センター」駅

会場

神戸臨床研究
情報センター
(TRI)

○三宮から (約 12 分)

ポートライナー「三宮」駅から
「神戸空港行き」に乗車し、
「医療センター前」駅で下車、
改札を出て右手 (東側) すぐ

○神戸空港から (約 6 分)

ポートライナー「神戸空港」駅から
「三宮方面行き」に乗車し、
「医療センター」駅で下車、
改札を出て右手 (東側) すぐ

お問い合わせ

財団法人 先端医療振興財団
クラスター推進センター・岡

TEL:078-306-0719

FAX:078-306-0752

e-mail: t-oka@fbri.org